

授業概要

①心理的アセスメントの目的および倫理、②心理的アセスメントの観点および展開、③心理的アセスメントの方法（観察、面接及び心理検査）、④適切な記録および報告、の4つの観点に基づき、アセスメントの具体的方法論を講義する。

授業計画

第 1 回	心理的アセスメントの目的および倫理
第 2 回	心理的アセスメントの方法：観察、面接
第 3 回	投影法パーソナリティ検査/バウム・テスト：体験と理論学習、分析、所見作成
第 4 回	投影法パーソナリティ検査/S-HTP 法：体験と理論学習、分析、所見作成
第 5 回	知能検査/グッドイナフ人物画知能検査①：体験と理論学習
第 6 回	知能検査/グッドイナフ人物画知能検査②：分析
第 7 回	発達検査/津守式乳幼児精神発達検査①1～3 歳用：理論学習、分析
第 8 回	発達検査/津守式乳幼児精神発達検査②3～7 歳用：理論学習、分析、所見作成
第 9 回	投影法パーソナリティ検査/SCT（文章完成法テスト）①：体験と理論学習
第 10 回	投影法パーソナリティ検査/SCT（文章完成法テスト）②：分析、所見作成
第 11 回	投影法パーソナリティ検査/風景構成法：体験と理論学習、分析、所見作成
第 12 回	知能検査/K-ABC 心理・教育アセスメントバッテリー①：理論学習
第 13 回	知能検査/K-ABC 心理・教育アセスメントバッテリー②：分析、所見作成
第 14 回	投影法パーソナリティ検査/家族画法：体験と理論学習、分析、所見作成
第 15 回	神経心理学的検査/改訂長谷川式簡易知能評価スケール：体験と理論学習
第 16 回	試験（筆記）

到達目標

- 1.心理的アセスメントの目的および倫理を説明することができる。
- 2.心理的アセスメントの観点および展開を説明することができる。
- 3.心理的アセスメントの方法（観察、面接および心理検査）についての理論と方法論を説明することができる。
- 4.適切な記録および報告に必要な知識と技能を身に着けている。

履修上の注意

あくまでも授業内学習であることに十分配慮したうえで講義するが、各種心理診断体験を伴うことを予め了解のうえ、授業に臨むこと。

予習復習

授業ノートおよび配布資料を再度見直しのうえ、理解に努めること。

評価方法

試験 50%、授業参加態度（意欲、積極的取り組み、主体性）50%によって評価する。

テキスト

使用しない。資料を配布する。